

# 地域医療連携推進法人

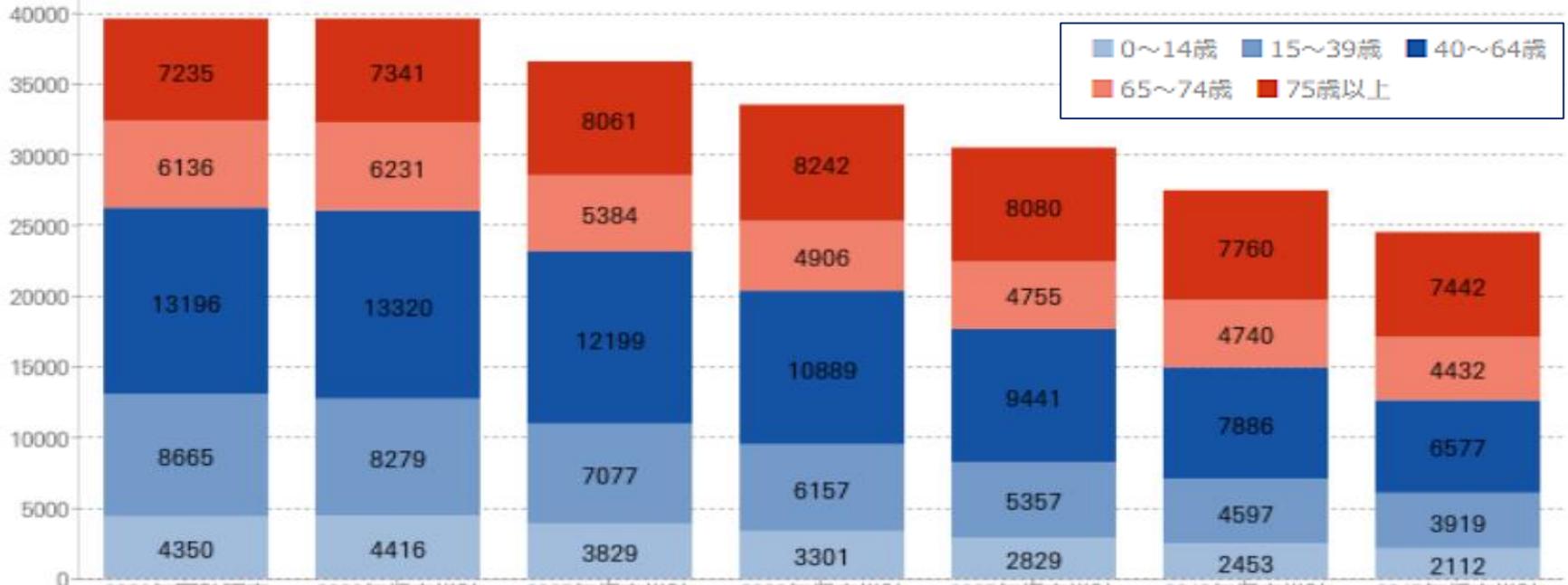
地域において業務の連携を推進するための方針（医療連携推進方針）を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人を都道府県知事が認定（医療連携推進認定）する制度

令和6年4月から、運営の負担を軽減する新類型も開始される予定

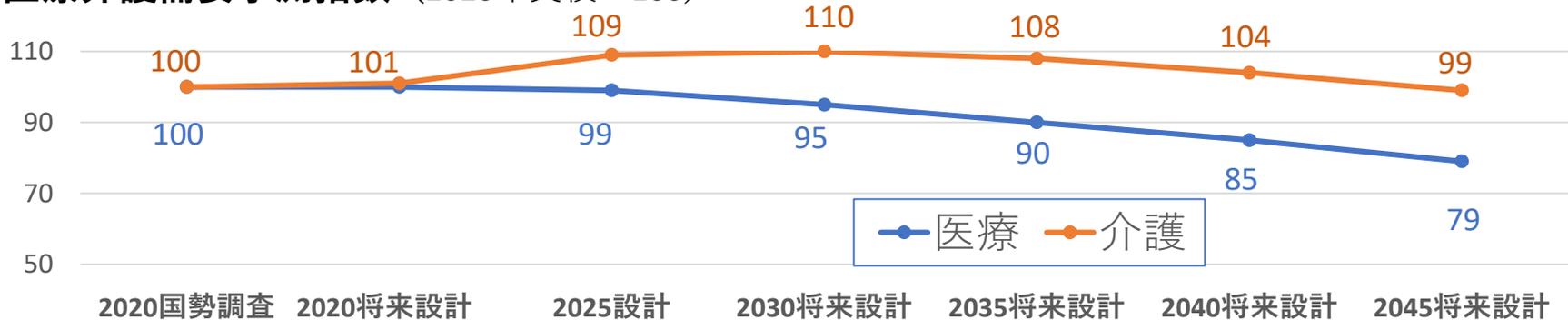
# 富良野医療圏の将来予測

人口は減少していく。生産年齢人口割合が低下し、老年人口割合が上昇する。  
医療需要は当面維持され、介護需要は増大する。⇒医療従事者確保が困難になる

将来推計人口（人）（国立社会保障・人口問題研究所 2018年3月推計）



医療介護需要予測指数（2020年実績 = 100）



# 日本医師会総合政策研究機構による分析（2020年のデータ）

## 富良野医療圏 医療の現状

- 医師：総数の偏差値40と**少ない**
- 看護師：**総数**の偏差値は48と**全国平均レベル**⇒**コロナ流行で減少**
- 一般病床等：人口当たりの偏差値は56で**多い**
- 療養病床：人口当たりの偏差値は51と**全国平均レベル**
- 回復期病床：**数は0である**（協会病院がコロナ病床）
- 診療所数：人口当たりの偏差値は39で**少ない**

## 富良野医療圏 介護施設の現状

- 介護保険施設定員が偏差値73**多く**、高齢者住宅等が偏差値36**少ない**
- 介護職員数は偏差値67で**多い**⇒**現実には人材不足で2施設閉鎖**

## 富良野医療圏 在宅ケアの現状

- 偏差値は在宅療養支援診療所33と**非常に少なく**、在宅療養支援病院56、訪問看護ステーションは42と**少ない**
- 介護職員数は偏差値44で、**少ない**

# 富良野圏域の入院病床

富良野圏域必要病床数

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	感染病床	合計
地域医療構想	25	120	177	165		487
富良野協会病院		145	50	56	4	255
ふらの西病院			58	41		99
かわむら整形		19				19
上富良野町立病院		44	→ 令和7年度 回復期30床(急性期一般6)へ			
中富良野町立病院				35		→令和6年度 無床化へ
令和5年8月合計		208	108	132	4	
令和7年6月～		164	138	97	4	

令和7年以降は急性期病床の余裕がなくなる

回復期と慢性期の病棟はそもそも足りない

入院機能は、急性期は富良野協会病院に集約化しつつ、回復期や慢性期は他の医療機関と富良野協会病院との連携の下、地域包括ケア機能の強化を図る必要がある

# 富良野医療圏の課題

- 富良野では医療介護需要に比べ、医療従事者が不足あるいはミスマッチしており、医療介護を供給する体制は危機に瀕している
- 新類型の地域医療連携推進法人を設立することで、効率的な医療従事者の勤務体制をつくり、一定の医療介護の供給を維持したい
- 新法人設立を機に、旭川医科大学との連携を深め、安定した医師の供給を確保したい
- 二次医療圏機能を維持するため、センター病院である協会病院の持続可能な経営を達成したい

# 地域医療連携推進法人にできること



研修



スタッフ配置



設備共同利用



薬の共同購入



病床の再編



資金の貸付

## 具体的な事例⑥ 南檜山メディカルネットワーク（北海道）

### 1.背景・経緯

南檜山圏域は人口減少と高齢化が進む一方で、各病院の病床利用率が低い

- 江差、上ノ国、厚沢部、乙部、奥尻の5町で構成する南檜山圏は、15年に2万3,800人だった人口が25年に23%減の1万8,300人余りに減少すると推計
- 入院受給率は46.3%と低く、患者流出率は53.7%で、主に南渡島圏に流出

2020年9月1日付で北海道として初認定

- 「南檜山メディカルネットワーク」の他、「上川北部医療連携推進機構」も同日付で認定

### 2.医療連携推進方針の概要

限られた医療資源を効果的かつ効率的に活用しながら、住民が将来にわたり住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受け続けられる体制の構築を目指す

- 道と江差町、厚沢部町、乙部町、上ノ国町、奥尻町、医療法人道南勤労者医療協会、医療法人雄心会で構成
- 道立江差病院に入院機能を集約し、地域包括ケア拠点として圏域の厚沢部、乙部、奥尻の町国保病院と町立上ノ国診療所との病棟再編を促進。道南勤医協江差診療所、江差脳神経外科クリニックも加わって、回復期機能の充実、地域の医療提供体制確保に努める。
- 道は札幌医科大学に「南檜山地域医療教育学講座」、江差病院に「札幌医科大学地域医療研究教育センター」をそれぞれ新設。同講座から同センターへ医師や初期研修医を派遣し、安定した医師確保を図る
- 運営方針
  - 将来の人口減少による医療需要の減少や医療従事者確保の困難さを見据え、圏域全体で効率的な医療提供体制を構築
  - 北海道立江差病院は、これまでの二次救急医療、一般入院医療のほか、札幌医科大学や南渡島圏域との連携による高度医療の確保と急性期経過後の受け皿としての回復期機能の充実を図る
  - 各町においては、入院医療機能や介護サービス等のニーズに見合った地域包括ケア体制の確保に取り組む
  - 地域住民が医療、介護、福祉及び生活支援を一体的に受けられる取組みを支援す

総医師数の偏差値が41(病院医師数49、診療所医師数26)と、総医師数は少なく、診療所医師数は非常に少ない。

総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

人口当たりの一般病床の偏差値は75で、一般病床は非常に多い。

全身麻酔数の件数43（偏差値30）と非常に少ない。南檜山には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

日本医師会総合政策研究機構（2022年版）

# 「オホーツク西紋医療ケアネットワーク」の 地域医療連携推進法人を北海道が認可

2023年9月25日 北海道医療新聞

- 法人事務局は、広域紋別病院内に設置
- 広域紋別病院、市休日夜間急病センター、上渚滑診療所、興部と雄武、滝上各町の国保病院・診療所、西興部厚生診療所、みなとクリニック（紋別）、山口クリニック（雄武）が参加
- 紋別市の大原、小林整形外科両医院は院長が個人で加入
- 将来的には西紋地区全ての医療機関の加入を目指す
- 代表理事は広域紋別病院の曾ヶ端克哉院長が務める
- 各医療機関が協力して患者情報共有や、医療機器の共同購入・利用、人材交流などを行い、人口減少が進む西紋地区の医療体制を維持する狙いがある



# 「新たな類型の地域医療連携推進法人」 ふらのメディカルアライアンス

個人立医療機関の参加も可能とする

資金の融通（「出資」「貸付」）は不可とする（個人立医療機関では個人用資産と医療資産の分離が困難であるため）

公認会計士・監査法人による外部監査を不要とする

富良野  
協会病院

中富良野  
町立病院

富良野市立  
山部診療所

介護老人  
保健施設  
ふらの

老健ふらの  
訪問看護  
ステーション

特別養護  
老人ホーム  
こぶし苑

まず6医療機関  
次に地域医療機関  
理想は大学まで  
(教育センター助成)

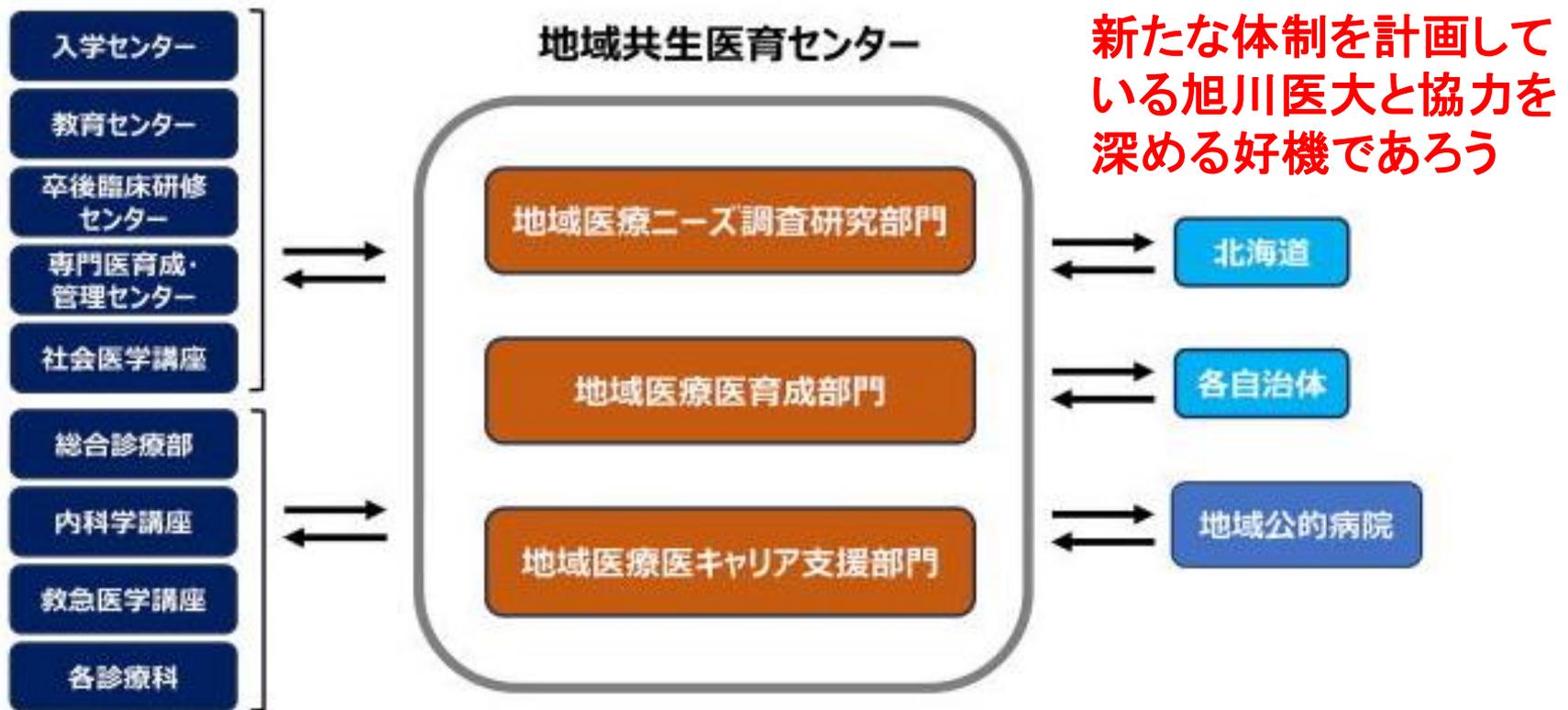
公立  
医療機関A

個人  
開業医B

特養施設C

訪問看護D

旭川医科大学  
富良野地域医療  
教育センター



1. 地域医療ニーズの適切な把握
2. 本学全体の協力体制による流動的な医師派遣およびマルチタスク型地域医療医育成および継続的な支援
3. 各自治体との密接な協力関係の構築

旭川医科大学は、医師養成課程の一貫性を強化する部署として2019年4月に設立した「地域共生医育統合センター」を抜本的に改組・強化し、地域のニーズを把握し、配置医師の数や専門領域バランスの適正化を考慮し、医師養成課程を継続的に改良していく部門としての新しい「**地域共生医育センター**」を立ち上げる予定

# 一般社団法人ふらのメディカルアライアンス

## 一般社団法人ふらのメディカルアライアンス役員

	設立時役員	氏名	所属	職名
1	代表理事	角谷 不二雄	社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院	病院長
2	理事	小山内 裕昭	社会福祉法人北海道社会事業協会 介護老人保健施設ふらの 富良野医師会	施設長 会長
3	理事	水野 正巳	中富良野町立病院	院長
4	理事	稲葉 武則	富良野市	副市長
5	理事	瀧澤 麻衣子	中富良野町特別養護老人ホームこぶし苑	所長
6	理事	杉村 一江	社会福祉法人北海道社会事業協会 老健ふらの訪問看護ステーション	所長
7	監事	柿本 敦史	富良野市保健福祉部	部長

1	設立時社員	社会福祉法人北海道社会事業協会
2	設立時社員	富良野市
3	設立時社員	中富良野町

評議員 医師会・患者団体その他で構成される地域医療連携推進評議会（10人以内）

1	評議員	加藤 健	富良野医師会副会長
2	評議員	小玉 将臣	富良野市社会福祉協議会 会長
3	評議員	田中 敏之	中富良野町立病院運営委員会委員

診療に関する学識経験者の団体その他の関係団体  
学識経験を有する者その他の関係者  
医療又は介護を受ける立場にあるもの

## 一般社団法人事務局

		職名	所属	職名
1	事務局	菅原 昭洋	社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院	事務部長
2	事務局	小山 芳明	介護老人保健施設ふらの 事務長	事務長
3	事務局	佐藤 清理	富良野市	保健医療課長
4	事務局	矢原 将行	中富良野町立病院	事務長
5	事務局	笹川 友一	中富良野町	福祉課長
6	事務局	成田 章剛	富良野協会病院 財務管財課	主事

# 地域医療連携推進法人ふらのメディカルアライアンス 設立準備スケジュール

		業務内容	関係先	備考
10月	下旬	地域医療連携推進法人設立事前審査申請	北海道医務薬務係	10/27申請済
		一般社団法人定款 社員押印	各社員	11/1済
		一般社団法人定款 旭川公証人合同役場提出	旭川公証人合同役場	11/1済
11月		法人印作成・登録（実印・銀行印・認印）		11/7済
		一般社団法人設立総会		11/8済
		一般社団法人設立登記申請	法務局	済
		地域医療構想調整会議（設立申請報告）	富良野保健所	11/22
	下旬	地域医療連携推進法人設立本申請	富良野保健所	
2月		医療審議会		
		公認会計士等の外部監査委託先選定		？
3月	中旬	設立認可書交付	保健所	
		名称の変更登記（認可後2週間以内）	法務局	